

一般質問



和田
議員

○松浦市の医療体制について

質 今日まで地域医療の維持を図るために、どのような施策を実施してこられたのか伺います。

健康ほけん課長 市内医療機関において医師の高齢化や後継者不足の状況にあることは承知しており、市立診療所の維持確保を行ってきました。また伊万里松浦病院の移転新設に努力し、令和2年の松浦中央病院の誘致を実現できました。

病床を市の中心部に確保することで市内救急受入率の向上を図るとともに、佐世保市の高度医療機関との連携を深めるために、病床の再編整備を図り、昨年11月には松浦中央病院の回復期病床の増床を実現できました。

質 西海市の取り組みは西海市医療機関新規開設・承継補助事業といわれるもので、令和5年の改正で新規開設時に救急対応の場合3千万円が加算され、補助上限額の合計が9千万円となっています。これらの支援が新規の開院につながっており、さらに、令和7年度の当初予算には救急医療体制確保に4800万円が計上されています。

医療機関と行政の関わり方として、西海市の積極的な補助事業の取り組みをご紹介しましたが、西海市では市の組織として、保健福祉部の包括支援課に地域支援班と医療政策班という部署があり、組織としても行政の支援体制が見てとれます。

本市においても、西海市のように積極的な補助事業への取り組みや支援体制の整備が早急に必要と考えますが、市長のご所見を伺います。

市長 人口減少に伴う患者の減少による医療機関の閉院が相次ぎ、医師不足も常態化しています。どの医療機関も経営が厳しい状況にある中で、市民の医療環境を守るためのさまざまな施策を講じています。西海市においても、その実情に応じた取り組みを実施されているものと認識しています。本市では、二次医療機関である松浦中央病院を中核病院とし、市内医療機関との連携を深めることが最も重要であると考えています。

また、救急医療の確保のため、佐世保市、平戸市、佐々町と共に医療関係者連絡協議会を組織し行政間での協議を重ね、いかにして市外医療機関との連携を深めていくかということも重要であるため、今後とも広い視点で医療政策を進めていきたいと考えています。

一般質問



武部
議員

○松浦貯蓄共済協同組合の問題について

質 松浦貯蓄共済協同組合が集めた、組合員や非組合員からの特別出資金は定款違反であります。市は管理監督行政庁として、行政責任をどう考えているのかお答えください。

市長 所管行政庁である本市としては、令和3年度において令和2年度の決算関係書類が提出されなかったことから、中小企業等協同組合法第105条の4第1項に、組合業務、会計が法令、定款、規約等に違反する疑いがあり、運営が著しく不当であると疑いがあると認めるときは、組合の業務、会計状況を検査することができるという規定に基づき、令和3年10月に検査、令和4年8月に立入検査等を行い、改善を求める行政指導、改善命令など必要な措置を講じてきました。

今後、組合が改善できないのであれば、改善命令の次の手続きとして、中小企業等協同組合法に基づく解散命令という監督権限の発動についても視野に入れ、取り組んでいくことが所管行政庁としての責任であると考えています。

○松浦党に関わる史跡整備保存活用について

質 梶谷城址は木を伐採していただいたおかげで景観がよくなりました。これを機に、松浦党に関わる史跡を知ってもらうために、史跡巡りは大変有意義だと思います。

先日、九州オルレ松浦・福島コースオープン2周年記念イベントに200人余りの人が参加され大変な賑わいでした。今福地域でも松浦党に関わる史跡を巡るウォーキングを開催してはどうかと考えましたが、見解を伺います。

文化観光課長 地域の活性化の取り組みとして、松浦の史跡を活用した史跡巡りをこれから地域で企画検討されることについては、地域が新たな観光資源として認知されることにつながると大変意義のある取り組みだと思います。

史跡巡りの企画造成がされる場合には、多くの方が楽しんでもらえるような工夫や受入れ体制、PRなど多くの項目をクリアしていく必要があるかと思われます。

オルレと史跡巡りでは異なる部分もあると思いますが、本市が持つオルレコース造成のノウハウが役に立つ部分があれば、ぜひご相談いただきたいと思います。